

### アメリカナマズって何？（チャネルキャットフィッシュ）

昭和 46 年に北アメリカより養殖魚として霞ヶ浦に移入される。その後、逃げ出したものが自然繁殖。爆発的な増加をたどり、霞ヶ浦の漁業は大打撃を受けてしまった。その後、アメリカナマズは利根川、利根川支流にまで生息域を拡大している。特定外来生物被害防止法の規制対象魚。



体長 60 cm で 2 キロ、70 cm で 3 キロを超える。今年 は 78 cm (5, 1 キロ) が捕獲された。その巨体を維持するために、毎日たくさんの魚が食べられていく。

そんなアメリカナマズが、残念な事に矢作川へ入り込んでしまった。心配なのは、もともとこの川にすんでいた魚たちだ。小さな魚は食べられてしまうし、産卵場所もうばわれてしまう。みんなだって、ライオンやトラが放し飼いになっている町には住めないだろ。ブラックバスやブルーギル、そしてアメリカナマズ。ぼくたち魚のために、早く安全な矢作川をとりもどしてくれよお～！

**WANTED**

矢作川のアメリカナマズ情報ください  
 豊田市矢作川研究所 TEL.0565-34-6860

北米原産の外来魚アメリカナマズが矢作川で増えています。河川生態系への影響が大きく、環境省が特定外来生物に指定している魚です。効果的な駆除方法を研究しますので、捕獲情報（場所・日時・サイズ・捕獲方法）をご提供ください。釣人の皆さんのご協力をお願いします。

※ ナマズよりギギに似ています

- ひげが 8 本 (ナマズは 4 本)。肩びれが 7 本。腹びれを持つなど、体の特徴はギギに似ています。腹びれは体の長さや太い尾つきでギギと見分けられます。30 cm 以上のものはアメリカナマズです。成長すると 1 m を超えます。
- 5 割りのオトリユが隠れて釣り上げられた魚が何度もあります。つぎ釣りに、コイ釣り、ルアー釣りでも釣られています。かなり遅れ早い魚にもなります。

矢作川漁業委員会・豊田市矢作川研究所

ポスターは川に掲示したり、釣具店などに配布した。



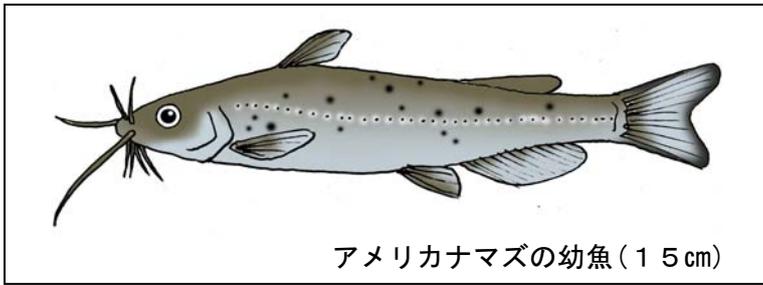
### 1. アメリカナマズと日本のナマズを比べてみる

#### 《 形で見分けよう 》

ヒゲは 8 本	背びれにかたい骨がある	あぶらびれがある
アメリカナマズ		成魚は 100 センチを越す
上あごが出っぱっている	肛門から尾にかけては幅広ではりがある	尾ひれは V 字で大きい
ヒゲは 4 本	背びれはやわらかく非常に小さい	あぶらびれはない
日本ナマズ		
下あごが出っぱっている	肛門から尾にかけては、細長くしなやか	尾ひれは小さく柔らかい

## 幼魚・若魚はギギにそっくり

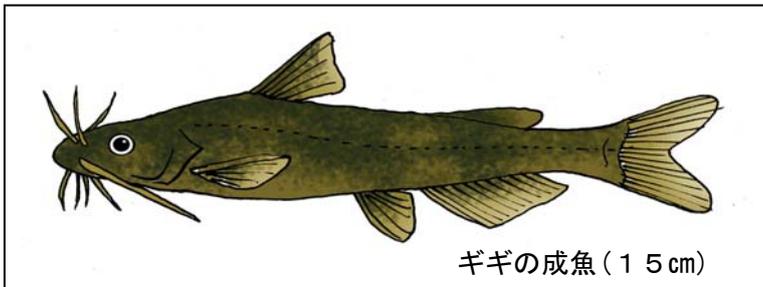
## 《 色で見分けよう 》



アメリカナマズの幼魚とギギの成魚は、大きさ・体型ともによく似ている。また、あぶらびれがあること、8本のヒゲを持つことも同じである。

腹側が銀白色の光をおびている

黒くはっきりした黒点がある



黄土色～褐色。もしくは黒一色

まだら模様はあるが、黒点はない

## 2. 捕獲方法

### ■ 試してみた釣りの方法

#### ○フッコミ釣り

投げ竿、磯竿(硬調)。糸はPEラインかナイロン6号以上

#### ○一本釣り

アユ用の剛竿  
糸はコロガン用のワイヤー使用

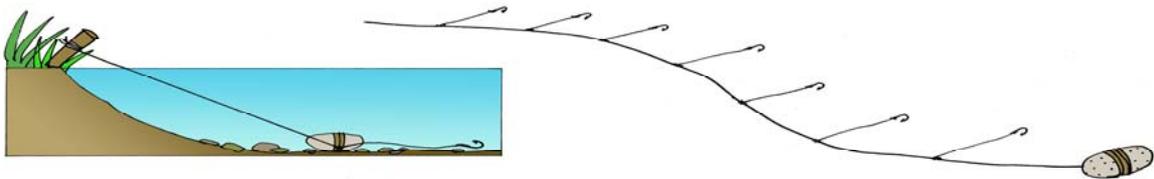


#### ○うき釣り

投げ竿、磯竿(硬調)  
糸はPEラインかナイロン3号以上

エサは、アユ、オイカワ、モロコ、ドジョウ、エビ(死んでいてもいいが、生きている方が食いがよい)。イカ、レバー。コイツリ用練りエサ。吸い込みと併用でコーン、ソーセージ、ミミズなど。

#### ○はえなわ、すてばり



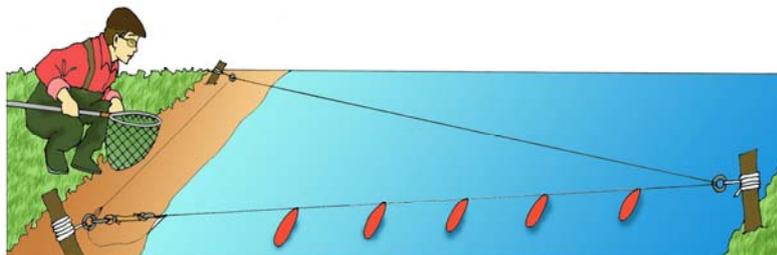
釣果は見込めるが、トラブルが多すぎる。(船上でのトラブル、根がかりなど) 針にかかったナマズは大暴れしたり、石穴にもぐるので回収確立が低く、糸切れもおおい。

#### ○浮かしはえなわ

下図のような仕掛けを設置し、毎日、えさの交換や魚の回収をする。ハリスは60~100cm。根がかりしないので、岸から仕掛けの引き上げや送り出しが簡単にできる。



アメリカナマズは暴れまわるので、クッションゴムが必要。



川幅の広い場所では、沖にアンカーをつけたブイを浮かべそれにリングをつける。糸は三角に張らないと、糸が絡み回収不能になる。



針はチヌ、ヒラマサ針。オモリは1, 5~2号。

ハリスはナイロンの20号を60センチ

1. 矢作川のアメリカナマズ 2005~2006

発見~初期調査

- 1、(捕獲月日、通し番号、場所、状況、大きさ)の一覧。
- 2、●は、TRY-aによる捕獲。  
○は、情報提供者より魚を譲り受けたもの。
- 3、□は、信頼できる情報。■は、駆除・処分。

2005

表 1

7月	1	阿摺ダム下 大岩前 (ウナギの夜釣りにかかる)	30cm
9月	2	阿摺ダム下 放水口 三角岩 (友釣りのオトリ鮎にかかる)	50cm
9月	3	阿摺ダム下 放水口 三角岩 (友釣りのオトリ鮎にかかる)	60cm
10月	4	阿摺ダム下 放水口 三角岩 (アユエサのぶっこみ釣り) アメリカナマズと判明 ●	60cm

2005年秋、矢作川阿摺ダム下流で釣り上げられたナマズが、特定外来生物アメリカナマズと判明。矢作川研究所、矢作川漁協へ連絡をする。

2006

表 2

6月	5	(情報) 梅雨時期、 一木川水門前で釣る	60cm
8月	6	阿摺ダム、大岩下流、ウナギの夜釣り (灰色で黒い斑紋あり)	30cm × 2匹
8月	7	西広瀬小下、大曲上流で	120cm
9月11日 PM. 3:00	8	阿摺ダム下 大岩前 ● (ブッコミ、アユの一匹がけで釣る)	70cm
9月16日	9	阿摺ダム下 大岩前 (足もとでバラシ)	90cm

2006年、研究所、漁協、天然アユ調査会、広瀬ヤナなどに声をかけて動向を見守るが、さしたる情報はなし。12月、矢作川水族館が、漁協よりアメリカナマズの調査依頼を受ける。

2. 矢作川のアメリカナマズ 2007

はえ縄での定点調査(阿摺ダム)

表 3

5月	⑩	越戸ダム、放水口直下 ルアー(トップ)で釣れる。○	60cm
	⑪	06年、竜宮橋下で釣れたとの情報	60cm
5月	⑫	小渡テニスコート前、目撃情報	60cm
8月	⑬	水源ダムで、 (はえ縄に掛かる) ○	(50cm)

2007年、春。水族館閉館とともに調査(はえなわ、ブッコミ釣り)を開始。成果はなし。  
アユの解禁に合わせポスター50枚を制作。釣り場、関係機関、釣具店に掲示する。うわさが広まり、少しずつ情報が寄せられる。ただ、ギギとの見間違いが多かった。

9月7日	⑭	阿摺ダム下 放水口 三角岩 (友釣り、ワイヤー仕掛け) ●	60, 2cm
9月21日	⑮	越戸ダム、放水口直下 (ルアー) ○	65cm
9月26日	⑯	阿摺ダム下 放水口上流のたまり (はえ縄) 腹からコケ ●	49, 5cm
9月26日	⑰	阿摺ダム下 放水口 三角岩 (友釣り) 腹からコケ ●	59cm
9月27日	⑱	阿摺ダム下 放水口 三角岩 (友釣り、ワイヤー仕掛け) ●	54cm

表 4

9月28日	⑲	阿摺ダム下 放水口上流のたまり (はえ縄。オイカワの生きエサ) ●	59cm
9月29日	⑳	阿摺ダム下 放水口上流のたまり (はえ縄。オイカワの生きエサ) ●	62cm
10月1日	21	阿摺ダム下 放水口上流のたまり (はえ縄。小イカ) ●	52cm
10月1日	22	阿摺ダム下 放水口上流のたまり (はえ縄。小イカ) ●	31cm
10月4日	23	阿摺ダム湖 左岸ダム上100m (オイカワエサ) 腹からセミ ○	48cm
10月7日	24	阿摺ダム下 放水口上流のたまり ネリエサのウキ釣り ●	56cm
10月9日	25	阿摺ダム湖 左岸ダム上100m (オイカワのエサ) 腹から小魚 ○	73cm
10月13日	26	阿摺ダム湖 左岸ダム上100m (投げ釣り。コーンのエサ) ○	18cm
10月25日	27	阿摺ダム下 放水口上流のたまり (はえ縄。魚肉ソーセージ) ●	71cm
11月1日		奥矢作ダムの流れ込み、アメナマ が多数いる。昼は底狙い。夜間は 水面でヒットする。という情報。	

「夜間、水面でも捕食をする」との情報をもとに「浮かし延縄」を考案する。阿摺ダム直下にはえなわを仕掛け、9月末~10月末の1ヶ月間で10匹を捕獲。駆除方法としての延縄漁にめどが立った。

### 3、 矢作川のアメリカナマス 2008 越戸ダム湖での調査

表 6

表 5

6月15日	29	越戸ダム直下 ●	65cm	2500g
7月15日	30	越戸ダム直下 ●	62cm	2300g
7月18日	31 32	越戸ダム直下 ●	62cm	2400g
7月15日		阿摺りダム ◎	78cm	5100g
7月30日	33	越戸ダム直下 ● ●	58cm 38cm (奇形)	2000g 500g
8月6日	34 35	越戸ダム直下 ● ●	63cm 60cm	2150g 2100g

9月21日	両枝橋よりボートを入れる 50mのはえなわを5本設置	雷雨
9月22日		釣果なし
9月24日		釣果なし
9月25日		釣果なし
9月26日	浅場にセルビン、ボート上からの釣りでモロコを確保 ニゴイ、コイなども釣れる。	釣果なし
9月27日	初釣果。 沈みはえ縄を1本仕掛ける。	橋上流・バス2 GR下・ナマズ1 麁舟前・ナマズ3
9月28日	安定した釣果。4箇所すべてに魚がかかった。 12℃と急な冷込み。水温も19.5℃と下がる	橋上流・バス1 ウグイ1 GR下・ナマズ2 カヌー・ナマズ1
9月29日	台風が接近。針をすべて回収	橋上流・バス1 カヌー・ナマズ1
10月2日	針付け エサ付け	
10月3日	中州からの泳がせ釣りで、ブラックバス1匹	橋上流・バス1
10月4日		GR下・ナマズ1

越戸ダム直下で、うき釣りによる調査をおこなう。  
モロコ、ハエの生きエサ。6回の調査で8匹捕獲。

越戸ダム湖の流入部～本湖にかけて、50mのはえなわをボートを使って4本仕掛ける。が、釣果なし。

なぜ、ダム直下で、これほど効率よく捕獲できるのに、ダム湖内では捕獲できないのか？

仕掛け、エサの問題…ブラックバスやナマズが釣れている以上、アメリカナマスがいれば釣れるはずである。

はえ縄の設置場所の問題…今後も調査を続けて、解明していくしかない。

ただ、**ダム直下が駆除の場所として最適**だということは分かった。ダム直下にアメリカナマスが多い理由には、ダムにより湖上の足止めがされること、岩場があること、また、安定した水温の伏流水、エサとなる小魚が多いことなどがあげられ

数字的裏付けは少ないが、4年間、川に通って分かったこと、感じたことを記す。

■**生息域** 奥矢作ダム～明治用水頭首工まで。矢作川ほぼ全域。下流にも今後増えていく可能性はあり。

■**生息地** ダム湖や水深のあるト口場、とくに大岩のある場所を好む。ただし、急流でも平気で上る遊泳力を持ち、瀬の中にいる事もある。その場合、大石の裏に身を潜めていることが多い。幼魚（25センチ以下）の多くは、ダム湖で成長していると思われる。産卵場所は不明。ダム上流の岩場で、水通しの良いところだと推測している。

■**移入経路** ・養殖の失敗。 . . . . . 矢作川流域で養殖を試みた者はない。  
・観賞魚のポイ捨て放流。 . . . . . 2, 3匹の放流では可能性が薄い。  
・霞ヶ浦からの鯉の放流に混入。 . . . . . 霞ヶ浦から鯉の移入なし。（漁協に確認）  
・おそらく、何者かの違法放流によるものだろう。 **移入場所は奥矢作ダム**だとおもわれる。

■**生息数** 生息域が広いので、その数は想像も出来ない。

■**食性** 雑食である。捕獲した魚の腹からでてきたのは、**小魚、セミ、藻の類**など。

○釣りエサにして釣れたものは以下の通り。

オイカワ、モロコなどの生きエサ。 生きたアユ。 死んだアユ。

小イカ。 鯉つり用の練りエサ。 コーン。 ソーセージ。

基本的には、何でも釣れるようである。

中層および表層の釣りでは、**動く生きエサが有効**。

ルアーで釣れているように、**好奇心は旺盛**。

速い流れの中では、生きたアユが有効。（死んだエサでもつれないことはない）

流れの遅いト口場やダム湖では、匂いのある練りエサ+生エサが有効。

匂いには敏感で、練りえさを用いると興奮状態になり水面へも顔を出す。

■**食味** 霞ヶ浦漁協が養殖を考えたのが分かるほど、実は厚く美味。脂は乗るがくせはない。フライ、煮つけ、蒲焼き、西京漬け . . . **すべて美味し**。

# 参考資料 捕獲した魚 35 匹の年齢と生まれ年

1～は捕獲した魚の通し番号。①～はその年齢。●は生まれた年を示す。

	2008	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	2000
1				30 cm②	①	●			
2				50cm④	③	②	①	●	
3				60 cm⑤	④	③	②	①	●
4				60 cm⑤	④	③	②	①	●
5			60 cm⑤	④	③	②	①	●	
6			30 cm②	①	●				
7			120 ⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤1995 生まれ
8			70cm⑥	⑤	④	③	②	①	●
9			90cm⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②1998 生まれ
10		60 cm⑤	④	③	②	①	●		
11		60 cm⑤	④	③	②	①	●		
12		60 cm⑤	④	③	②	①	●		
13		50 cm④	③	②	①	●			
14		60 cm⑤	④	③	②	①	●		
15		65 cm⑥	⑤	④	③	②	①	●	
16		50 cm④	③	②	①	●			
17		59 cm⑤	④	③	②	①	●		
18		54 cm⑤	④	③	②	①	●		
19		60 cm⑤	④	③	②	①	●		
20		62 cm⑤	④	③	②	①	●		
21		52 cm④	③	②	①	●			
22		40 cm③	②	①	●				
23		48 cm④	③	②	①	●			
24		56 cm⑤	④	③	②	①	●		
25		73 cm⑥	⑤	④	③	②	①	●	
26		18 cm①	●						
27		71 cm⑥	⑤	④	③	②	①	●	
28	65 cm⑥	⑤	④	③	②	①	●		
29	62 cm⑤	④	③	②	①	●			
30	62 cm⑤	④	③	②	①	●			
31	78 cm⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	●	
32	58 cm⑤	④	③	②	①	●			
33	38 cm③	②	①	●					
34	63 cm⑤	④	③	②	①	●			
35	60 cm⑤	④	③	②	①	●			

捕獲した数

18									
17									
16									
15									
14									
13									
12									
11									
10									
9									
8									
7									
6									
5									
4									
3									
2									
1									
	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 上

魚の年齢

< 年齢、大きさ、産卵数の一覧表 >

	年齢	大きさ	重さ	卵の数
①	1 年魚	10-15 cm		
②	2 年魚	25-30 cm		
③	3 年魚	35-40 cm		
④	4 年魚	45-50 cm	約 1000 g	約 1000 個
⑤	5 年魚	55-60 cm	約 2000 g	約 2000 個
⑥	6 年魚	65-70 cm	約 3000 g	約 3000 個
⑦	7 年魚	75-80 cm	約 4000 g	約 4000 個

アメリカナマズは、10 年ほど前、すでに矢作川へ侵入し、繁殖を繰り返してきたものと思われる。効果的だったのはえ縄だが、5 歳を中心とした成魚しか釣れない。今後は、幼魚の捕獲方法の確立も課題となる。